

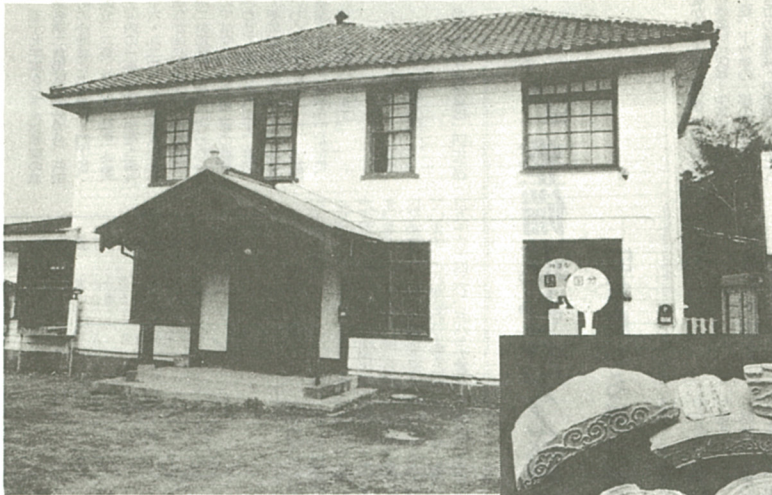
広報えびな



市章

世帯と人口	
57年2月1日現在	
世帯	25,117世帯 (+22)
人口	83,208人 (+153)
男	42,751人
女	40,457人
毎月1日・15日発行	

発行・海老名市役所・海老名市国分155/編集・秘書広報課/電話・31-2111(代)/〒243



▲資料館(仮称)になる旧庁舎

旧庁舎も文化財

この旧庁舎は、大正五年四月に落成したもので、当時時代の最先端を

相模国分寺のカワラ

先頭を近代建築、上級官庁として権威の象徴的存在であった。市民からの強い要望もあって資料館として内部に歴史資料を収納し、建物も同時にカワラ保存しようとの計画を立て、今年度予算で三千六百万円を計上して保存のための補修工事を行なうことになりました。



開館は9月?

建物の整備が終わると、次に収蔵物を入れ、整理・分類して陳列することになりますが、当面は「温故郷」の収蔵物を中心に作業が進められます。



天正文化を徹すもちに建立された相模国分寺のカワラを保存し、時代には先頭時代から明治まで、小さなもので数えれば五十坪ほらない文化遺産が収められていました。

この資料館(仮称)は、歴史資料の展示だけでなく、将来次のような事業を順次実施する予定です。

完成当時に見学

小島重治さん(大)

は温故郷の気配が、こころに響いた。資料館として使われることになったのは、上級官庁でも、校舎として使われていた。



市民講演会

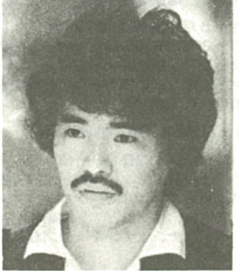
「味のある話」

講師 楠本 憲吉

とき=3月13日(土)午後2時~4時
ところ=文化会館ホール
入場無料。先着1,100人。
＜申し込み＞
電話またはハガキで、市立中央公民館(☎32・3231 千243 上郷476-2)まで。ハガキには住所、氏名、電話番号を記入。

堀内孝雄コンサート

とき・5月22日(土)午後6時
半開演/ところ・市文化会館ホール/入場料・A席2,800円 B席2,500円(全席指定)/前売り・3月21日(日)午前9時から(電話予約は22日から)/主催・市文化会館事業協会(☎32・3231)



よみがえる旧庁舎

旧町役場の建物が「資料館」(仮称)に

海老名市から海老名町、さらに有馬村と合併し新生海老名町となるまでの約五十年にわたって旧庁舎として使われていた庁舎(図九三三)が市の歴史資料を収蔵・展示する「資料館(仮称)」として再び市民の目に留まることになり、現在、修復工事中です。開館すれば相模国分寺遺跡からの出土品を海老名市内各地に残された歴史資料を可能な限り一帯に集め、無料で見学していただけるようになります。現在進行中の市国分寺事業や文化財の保護にも大いに役立つと期待が寄せられています。

この資料館(仮称)は、歴史資料の展示だけでなく、将来次のような事業を順次実施する予定です。

将来は各種事業

◆資料館(仮称)は、歴史資料の展示だけでなく、将来次のような事業を順次実施する予定です。



市内から出土したじょう文式土器

▲市内出土の石器類

今こそ教育に県民の英知を



▲県民討論会開かれる

2月13日、長洲県知事を迎え、教育問題について、田野口勝氏(市PTA連絡協議会長)石倉幸氏(市青少年指導員連絡協議会書記)らの意見発表の後、参加者約350人が活発な意見を交換しました。市立中央公民館で。



▲ジャズダンスで肥満解消?

「美容と健康に役立つ」と好評の公民館講座のジャズダンス。30人の受講者の方は、日を重ねる度にスマートに変身。2月15日、市立中央公民館で。

フォトニュース



▶みんながスター

市子ども会育成会連絡協議会は、創立10周年記念文化発表会を開催。各地区子ども会が練習の成果を披露。写真上は「トシガール」、下は「レレッタ」(海賊たち)を踊る。2月11日、市文化会館で。



▲統計図表に感心
県統計図表「コナール」入選作品は、両親に申しあげた回数図表にすぎず、小学生のユニークな作品が多く、出場者は足を止め入っていました。2月4日、ニチイ海老名店文化ホールで。



募集

市政モニター

▷応募資格=市内在住の20歳以上の方(公務員など公職にある方は除く)▷募集人員=30人▷依頼期間=昭和57年4月~58年3月▷しごと=市政に対する意見・提案をモニターカードにより提出、モニター会議への出席など▷謝礼=年額一万円程度▷募集締め切り=3月20日(土)▷応募方法=ハガキまたは電話で秘書広報課。ハガキには、住所、氏名、年齢、電話番号、職業のほか応募された動機を簡単に記入▷問い合わせ=秘書広報課。

消費生活モニター

▷応募資格=市内在住で消費生活モニターを経験していない方▷募集人員=30人▷依頼期間=昭和57年4月~58年3月▷しごと=①工場・農家見学、消費生活講座、意見交換会などへの参加②アンケート、価格調査への協力③意見や情報の提供▷謝礼=年額1万1千円程度▷募集締め切り=3月15日(月)▷応募方法=随工課にある応募用紙に必要事項を記入の上提出▷問い合わせ=随工課。

広報モニター

▷応募資格=市内に在住し、広報に関心をお持ちの方ならどなたでも結構です▷募集人員=10人▷依頼期間=昭和57年4月~58年3月▷しごと=「広報えびな」などが発行する広報刊物の批評、投稿、「モニター会議」への出席など▷謝礼=年額1万円程度(予定)▷募集締め切り=3月20日(金)▷応募方法=ハガキ、または電話で秘書広報課へ。ハガキには住所、氏名、年齢、電話番号、職業のほか応募された動機を簡単に記入してください▷問い合わせ=秘書広報課。

人権問題は相談を



新しく人権擁護委員として、山田嘉茂(よまたよししげ)氏が一月十五日付で法務大臣から委嘱されました。同氏の委嘱で市内の人権擁護委員は八人となり、今後市民の権利擁護のために活躍いたします。

人権擁護委員は、法律(人権擁護委員法)の定めで法務大臣委嘱を受け、国民の基本的人権が侵害された場合には、救済のため適切な処置をとることに、常に自由人権思想の普及高揚を努めることを目的としています。

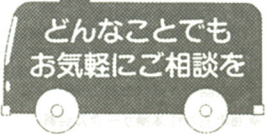
場所と時間 変わります



くらしと計量展

3月12日~14日、ニチイ海老名店文化ホール▷内容=計量の歴史、家庭用計量器無料検査など▷主催=県計量検定所。

県民相談車が海老名駅前



とき 3月11日(木)午後1時~6時
ところ 海老名駅前東口
内容 県と市が合同で、あらゆる相談に専門の相談員が応じます。
①行政……県や市の仕事についての意見、要望、お問い合わせなど。
②交通事故……交通事故の損害賠償、示談、交渉の進め方など。
③法律……いろいろな紛争解決の方法(示談、調停、訴訟)など。
④その他……生活上の心配ごとなど、どんなことでも。

消火器使えますか?

各地で取り扱い方を実技指導
市消防本部は、市内各地で消火の過ぎたためを保持する方は、当火器の取り扱い方の指導を兼ね、日会場に持ち寄り消火訓練をこれ程で行います。(雨天の場合は中止)▷問い合わせ=市消防本部
各家庭で消火器の薬剤有効期限 31・000000

とき	ところ
7日(日)	河原口安養院 河原口神社
10日(水)	中新田公民館 中新田ちびっ子広場
12日(金)	社家分校跡広場 社家トリム広場
14日(日)	今里八幡宮 今里公民館
19日(金)	中野八幡神社 中野公民館
24日(水)	門沢橋第1児童公園 門沢橋児童館